

平成 30 年度

学校自己評価報告書

令和元年 5 月

久留米大学医学部附属  
臨床検査専門学校

## 平成 30 年度学校自己評価について

久留米大学医学部附属臨床検査専門学校は、創立 51 年の歴史と伝統を持つ学校です。医学部附属の特長を活かし、時代のニーズに合った講義の充実と実践的な技術養成のため実習重視の教育によって、医療人そして社会人として必要な豊かな人間性を育み、医療の現場の最前線で活躍できる臨床検査技師の育成を目指して参りました。

本校では、以前より本校独自の評価基準に基づき、学校の自己評価と改善にに取り組んで参りましたが、より良い自己評価を目指し、文部科学省「専修学校における学校評価ガイドライン」を参考として評価項目を見直し、現状と課題の把握及び改善策の検討・実施を行っています。

評価は、学生による教員評価アンケート、新卒者の臨床検査技師国家試験の合否結果及び就職内定結果並びに臨地実習指導者会議及び保護者の会総会での結果なども参考にして行っています。今後も、この学校自己評価の結果を生かし、更なる教育の質の向上を図りたいと考えています。

### 1. 対象期間

平成 30 年 4 月 1 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日

### 2. 実施方法

- (1) 「久留米大学医学部附属臨床検査専門学校教務会」の学校長、教務主任、専任教員及び事務職員によって評価を行う。
- (2) 委員構成  
議 長：校長  
委 員：臨床検査専門学校 教務主任、専任教員及び事務職員  
評 価：「専修学校における学校評価ガイドライン」を参考に行う。
- (3) 評価は、年一回 5 月に行います。
- (4) 評価結果の公開は、報告書をホームページに掲載することによって行います。

### 3. 自己評価の項目

自己評価は、以下の 10 項目を実施します。

- (1) 教育理念・目標
- (2) 学校運営
- (3) 教育活動
- (4) 学修成果
- (5) 学生支援
- (6) 教育環境

- (7) 学生の受入れ募集
- (8) 財務
- (9) 法令等の遵守
- (10) 社会貢献・地域貢献

#### 4. 評価項目に対する評価

評価は、以下の4～1の点数で評価記載。

**4:適切、3:ほぼ適切、2:やや不適切、1:不適切**

#### 5. 自己評価結果（平成30年度）

##### (1) 教育理念・目標

###### ① 評価

評価項目		評価 (4～1)
a	学校の理念・目的・育成人材像は明確であるか	4
b	学校における職業教育の特色は何か	4
c	社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3
d	教育目標、育成人材像は、業界のニーズを踏まえているか	3

###### ② 状況及び課題と改善策

- a. b. 学校の教育の理念・目的・育成人材像についてはパンフレットやシラバスにて明確に定められている。また、職業教育の特色についてもパンフレットやホームページなどで広く周知している。
- c. d. 社会ニーズへ対応した将来構想や教育目標、育成人材像についても医学部附属である特徴を活かして対応し、学生への周知についてもオリエンテーション、ホームルーム、講義等の機会を利用し周知を行っている。

##### (2) 学校運営

###### ① 評価

評価項目		評価 (4～1)
a	目的等に沿った運営方針・事業計画が策定されているか	3
b	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
c	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	2

###### ② 状況及び課題と改善策

- a. b. 事業計画が策定され目的等に沿った運営が行われてる。また、運営組織や意思決定機能は規則等において明確化され、有効に機能している。
- c. 教育活動等に関する情報公開が不十分であり、ホームページ等の有効活用がされていない。

### (3) 教育活動

#### ① 評価

評価項目		評価 (4~1)
a	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3
b	教育理念、育成人材像やニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3
c	カリキュラムは体系的に編成されているか	3
d	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3
e	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	2
f	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
g	職員の能力開発のための研修等が行われているか	2

#### ② 状況及び課題と改善策

- a. b. c. 教育理念等に基づき、教育課程の編成・実施方針等が策定され、育成する人材像やニーズを踏まえた臨床検査科としての教育到達レベル及び学習時間の確保についてもシラバス、パンフレット、ホームページなどに明示されており、カリキュラムも体系的に編成されていることが伺うことができる。
- d. キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムが編成され実施されている。
- e. 臨地実習指導者会議などを行い、実習先病院の評価は得られているもののそれ以外の外部関係者の評価を得ていない。
- f. 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確にされ、シラバス等にも明記されている。
- g. 教員、事務職員ともに能力開発のための研修等が不十分である。

### (4) 学修成果

#### ① 評価

評価項目		評価 (4~1)
a	資格取得率の向上が図られているか	4
b	就職率の向上が図られているか	4

#### ② 状況及び課題と改善策

- a. 平成 30 年度の臨床検査技師の国家試験合格率（新卒者）は 92.7%であり、不合格が 3 名であった。しかし、全国平均の 86.5%を大きく上回っていた。
- b. 就職率の向上については、国家試験結果に負うところが大きいものの、キャリア教育については接遇研修、模擬面接指導、学校での企業説明会が随時行われている。

(5) 学生支援

① 評価

評価項目		評価 (4~1)
a	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3
b	学生相談に関する体制は整備されているか	4
c	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3
d	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
e	保護者と適切に連携しているか	4
f	卒業生への支援体制はあるか	3

② 状況及び課題と改善策

- a. 進路・就職に関する支援体制は整備されている。
- b. 学生相談については、保健管理センターに学生相談室が設置され、各曜日に精神科医や臨床心理士が相談に応じる体制が整備されている。
- c. 日本学生支援機構奨学金の利用は可能である。
- d. 学生の健康管理を担う組織としては、保健管理センターがあり各学生のメンタル面を含む健康管理が行われている。
- e. 保護者の会総会、年2回の保護者の会役員会を開催して適切に連携が行われ、学生の教育、施設運営、その他必要と認めた諸活動における援助が得られている。
- f. 学校行事への同窓会会長の出席と援助が行われており、ホームページや連絡用メーリングリストのメンテナンスなどを通じての連携も行われ、同窓会を通じて卒業生への支援が行われている。

(6) 教育環境

① 評価

評価項目		評価 (4~1)
a	施設・設備は、整備されているか	3
b	防災に対する体制は整備されているか	3

② 状況及び課題と改善策

- a. 校舎は老朽化してきているものの、必要に応じて整備が行われている。
- b. 防災体制も整備されている。また、自然災害があった場合の学生の安否確認の体制（緊急連絡用メーリングリスト、緊急連絡先名簿の作成等）についても整備されている。

(7) 学生の受入れ募集

① 評価

評価項目		評価 (4~1)
a	学生募集活動は、適正に行われているか	4
b	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
c	学納金は妥当なものとなっているか	4

② 状況及び課題と改善策

- a. b. 学生募集活動は、新入生の入学動向によって適正に行われていることが確認でき、パンフレットに教育の成果も正確に伝えられている。
- c. 近隣の臨床検査技師養成校の学納金の状況からも、学納金の額は妥当である。

(8) 財務

① 評価

評価項目		評価 (4~1)
a	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
b	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
c	財務情報公開の体制整備はできているか	4

② 状況及び課題と改善策

- a. b. 中長期的な財務基盤は安定しており、充分ではないものの優先順位を考慮し有効性かつ妥当性を考慮した予算・収支計画が行われている。
- c. 財務情報公開の体制整備はされており Web にも公開されている。

(9) 法令等の遵守

① 評価

評価項目		評価 (4~1)
a	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3
b	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	2

② 状況及び課題と改善策

- a. b. 個人情報の保護の対策はとられており、第三者への情報提供についても上長の決裁を仰いだり、授受記録を残すなどの配慮がされている。
- c. 自己評価の実施と問題点の改善が不十分であり、情報公開の体制整備がされていない。

(10) 社会貢献・地域貢献

① 評価

評価項目		評価 (4~1)
a	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	2
b	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	2

②状況及び課題と改善策

- a. b. 顕著な学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献などはない。
- c. 臨床検査技師の養成学校という特殊性もあり、学生の安全に配慮した支援が必要である。入院患者の支援サービスなどのボランティア活動もあるため今後に期待したい。